

48°

H36
D6461

日本語

中级 I

东海大学留学生教育中心编

齐秀茹 编译

南开大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

日本語. 中级. I / 齐秀茹编译. - 天津: 南开大学出版社, 2000

ISBN 7-310-01326-3

I. 日… II. 齐… III. 日语-教材 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(1999)第 49353 号

出版发行 南开大学出版社

地址: 天津市南开区卫津路 94 号

邮编: 300071 电话: (022)23508542

出版人 张世甲

承印 河北昌黎印刷总厂印刷

经销 全国各地新华书店

版次 2000 年 1 月第 1 版

印次 2000 年 1 月第 1 次印刷

开本 787mm × 1092mm 1/16

印张 10.75

字数 264 千字

印数 1 - 5000

定价 18.00 元

第一課 日本の国土

〔位置〕

地図で見ると、日本はアジア大陸の東のはしにある島国である。北東から南西に、北海道・本州・四国・九州の四つの島と、そのまわりの多くの島々が弓なりにつらなっていて、これを日本列島とよんでいる。

日本列島は、北東の千島列島から南西の南西諸島へつづき、本州の南方には、伊豆諸島、小笠原諸島などの小さな島々がならんでいる。

日本は四方を海にかこまれている。アジア大陸との間には、北からオホーシク海・日本海・東シナ海があり、日本列島の東には、太平洋がひろがっている。六十キロメートルばかりの海峡をへだてて、西に朝鮮半島があり、南西の方向には、台湾・フィリピンがある。北には、サハリン・千島列島・カムチャツカ半島がある。

北東から南西にはそ長くのびる日本列島の長さは、およそ三千五百キロメートルで、その面積は、やく三十八万平方キロである。

国土

位置

地図、大陸、島国、北東

南西、北海道、本州、四国

九州、島、島々

弓なり、列島

諸島、南方

四方、海、北

オホーシク海、太平洋

海峡、西、半島

方向

長い

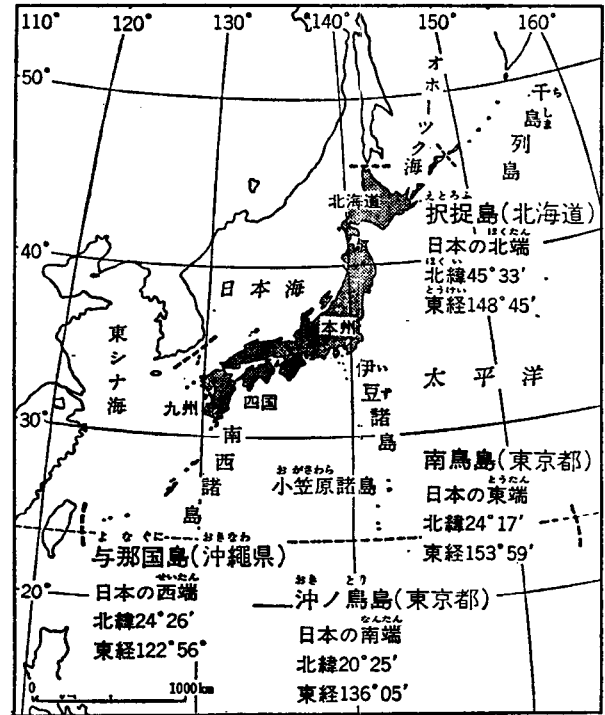
面積、平方

〔広い山地とせまい平野〕

島国日本は、また山国である。山地の面積は、日本の国土全体のおよそ十分の七をしめている。

山地は日本列島の中央を、せぼねのようにたてにつらなっていて、国土を太平洋側と日本海側とに大きく分けている。

とくに本州の中央部には、三千メートル以上の山々がそびえる山脈がいくつもならんでいる。この地方を中心として、山地は、東北日本では三列



日本の位置

(「小学校社会」学校図書より)

5

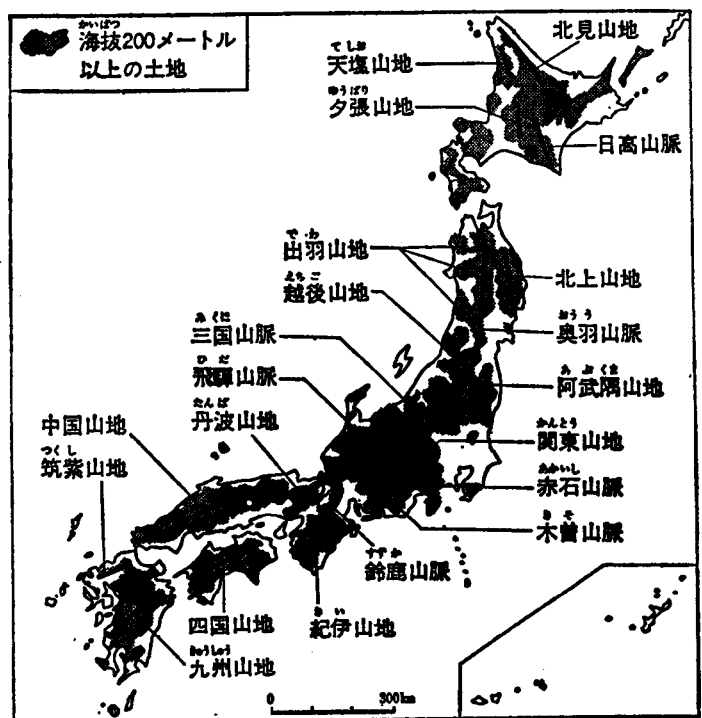
1

山地、平野
山国、全体

中央

太平洋側

中央部、以上、山々、山脈
地方、中心、東北、三列



日本のおもな山脈と山地

(「小学校社会」学校図書より)

に、西南日本では二列に分かれてつらなっている。それらの山地の間に、谷や平地などがふくさつに組み合っていて、そのようすも、場所によってたいへんちがっている。

このように、日本は地形がふくさつで、そのうえ、地震や火山の噴火などの自然の災害も多い所である。

5

1

西南、谷、平地
組み合う、場所
地形、地震、火山、噴火
自然、災害、所

〔変化の多い気候〕

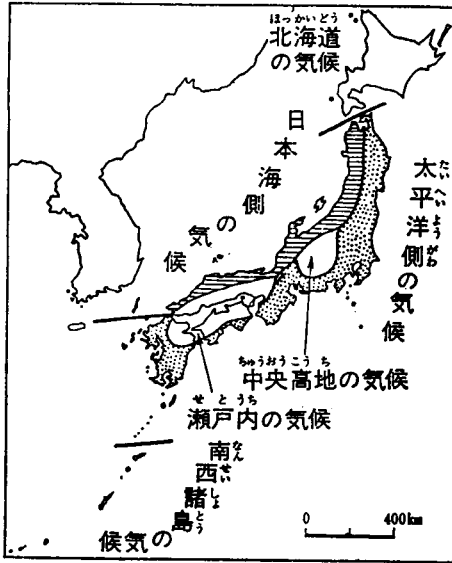
日本は、地球上でいちばん住みよい温帯にあって、春・夏・秋・冬の四季の区別がはっきりしている。

とくに、夏と冬では、暑さ寒さの気温のちがいがかなりある。すなわち、夏は、南東の季節風がふいて気温が高くなるうえ、湿気も多いので、熱帯のようにむし暑くなる。一方、冬は、シベリアからの北西の季節風がふくために、きびしい寒さになる。

春と秋は、いっばんにおだやかなよい気候だが、六月から七月にかけて、雨がちの天気がつづく。

これをつゆという。つゆの終わりがごろには、集中豪雨のために、地くずれや洪水がおきることもあるが、その雨は、稲作には大切な用水である。

台風は、夏から秋にかけて、南方の海上で発生し、日本列島をおそってくる。この



気候でわけた日本 (福井英一郎, 気象庁ほか)

15

10

5

1

変化、気候

地球上、住む、温帯、春

夏、秋、冬、四季、区別

暑さ、寒さ、気温

南東、季節風、高い、湿気

熱帯、一方、北西

終わり、

集中豪雨

地くずれ

稲作、大切、用水

台風

南方、海上、発生

台風のはげしい風雨によって、作物や鉄道などが大きな被害を受ける。

冬になると、日本海側の地方では、大雪のために交通が止まり、雪にとじこめられてしまう所がある。とくに、北陸地方や東北地方の山ぞいの地方では、雪がふかく積もる。これは、冬の季節風が日本海上をこえる時に、多量の水分をふくみ、この風が山地にあたって、日本海側の地方に雪をたくさんふらせるからである。

そのため、日本海側の冬の日照率は二十パーセント以下で、くもりの日は、月に二十日以上にもなる。また、雪のふる日も、月に二十日をこえることがある。

一方、太平洋側では、日本海上をふいてきた風が山脈をこえる時、水分のほとんどを日本海側におとすので、かんそうした晴れた日が多くなる。日本の気候は、地方や季節によって、このようにちがう。このことは、人々の生活様式にも産業にも、大きなえいきょうをあたえている。

1

5

10

風雨、作物、鉄道、被害

受ける、大雪、交通、止まる

北陸

積もる

多量、水分

日照率、以下

風

晴れる

人々、生活様式、産業

第一課 必修漢字 1~23

8	7	6	5	3	3	2	1
積	面	平	太	列	弓	島	課
積もる ツクモル	面積 メンセキ 面かけ オモカケ	平 ヒラ 平等 ヒラドウ 太平洋 タイヘイヨウ	太 タイ 太平洋 タイヘイヨウ	列 レツ 列島 レツトウ (列)	弓 ユウ 弓なり ユウナリ 弓道 ユウドウ	島 シマ 半島 ハンコウ 島国 シマクニ	課 カ 一課 イツカ

16	15	14	13	12	11	10	9
球	害	災	然	谷	側	央	体
球つき タマツキ	地球 チキウ 災害 サイガイ	災 サイ 災害 サイガイ	然 ゼン 天然 テンネン 自然 ゼンゼン	谷 ヤ 谷 ヤ	側 ソバ 側面 ソバメン 日本海側 ニホンカイガワ	央 オウ 中央 チュウオウ	体 タイ 風体 フウタイ 全体 ゼンタイ 体つき タマツキ

23	22	21	20	19	18	17
業	産	量	節	別	季	帯
早業 ハヤウ 産業 サンギョウ	産 サン 産む サンブ	量 リョウ 多量 タリョウ 量る ハカル	節 セツ 季節 キセツ 節風 セツフウ	別 ベツ 別れる ベツレル 区別 クベツ	季 キ 四季 シキ	帯 タイ 温帯 オンタイ

第二課 学校のはじまり

明治維新[※]によって、日本は大きく変わりました。

それまでは、主として武士だけが学問をしていましたが、政府は、新しいりっぱな国をつくるには、すべての国民にしつかりした教育を受けさせなければならぬと考えました。

そこで、明治四年に文部省をつくり、五年には、学校制度を定めて、新しい教育に向かって第一歩をふみだしました。この制度は、全国に八つの大学、二五六の中学、五三、七六〇の小学校をつくるという、大きな計画でした。それまでのような差別教育はなくなり、四民平等[※]の原則によって、だれでも教育が受けられるようになりました。学制の出された翌年には、男子の四六パーセント、女子の一七パーセントくらいの人が、小学校で学ぶようになったということです。

はじめのうちは、先生がたりなくてこまったようです。教え方も、寺子屋のころとあまり変わりませんでした。けれども、先生を養成する師範学校や、最高学府としての帝国大学（国立大学）などがつくられてくると、学校制度はしだいにととのってきました。そして、明治四十年ごろには、

15

10

5

1

学校^{がっこう}

明治維新^{めいじいしん}、変わる^{かわ}

主^{しゅ}、武士^{ぶし}、学問^{がくもん}、政府^{せいふ}、新しい^{あた}
国民^{こくみん}、教育^{きょういく}、受ける^う

考える^{かんが}

文部省^{もんぶしょう}、制度^{せいど}、定める^{さだ}

向かう^{むかう}、第一歩^{だいいっぽ}、全国^{ぜんこく}

計画^{けいかく}

差別^{さべつ}、四民平等^{しみにびやうどう}、原則^{げんそく}

学制^{がくせい}、翌年^{よくねん}

男子^{だんし}、女子^{じょし}

学ぶ^{まな}

教え方^{おし かた}、寺子屋^{てらこや}

養成^{ようせい}、師範^{しはん}

最高学府^{さいこうがく}、帝国^{ていこく}、国立^{こくりつ}

学齡期の子供の九五パーセント以上が、小学校へ通うようになりました。

1

このような国立の学校に対して、福沢諭吉、津田梅子などは、それぞれ独特の校風を持った私立学校をつくり、自分の経験を生かした教育を行ないました。

5

福沢は若いころ、幕府の役人にしたがってアメリカへ行き、西洋の合理的な思想に心をひかれました。そして、封建的な思想に反対し、西洋の思想を日本に広めようと考え、慶応四年（一八六八年・明治元年）に慶応義塾をつくりました。

10

ここでは、国立の学校とちがって、自由な空気をおもんじ、新しい時代にあふわしい人間を育てる教育が行なわれました。また、福沢は、「天は人の上に人をつくらず、人の下に人をつくらず」ということばではじまる『学問のすすめ』という本を書きました。

慶応義塾からは、実業家や政治家など、有名な人が出ています。

15

津田梅子は、六才でアメリカに留学し、帰国してから一生を女子教育にささげた人です。岩倉具視が欧米に向かつて出発するとき、五人の女子留

学齡期、子供、以上、通う

対する

独特、校風、持つ、私立

自分、経験、生かす、行なう

若い、幕府、役人、西洋

合理的、思想、心、封建的

反対、広める、元年

自由、時代

人間、育てる

実業家、政治家、有名

六才、留学、帰国、一生

欧米、出発、留学生

学生をつれて行きましたが、その中で、いちばん若かったのが、この津田梅子でした。 1

梅子の父は農学者で、すすんだ思想の持ち主でした。かれは、日本に文明をもたらすのは、教育のある女性だと考えていました。そういう女性をつくるためには、おさないうちに欧米に送って教育しなければならないうと、まだ六才の自分のむすめを手放す決心をしたのです。 5

梅子は、アメリカ人の家庭で、アメリカ人と同じ生活をしながら、アメリカのことば・風俗・習慣・ものの見方などを身につけて、十一年後の明治十五年に帰国しました。

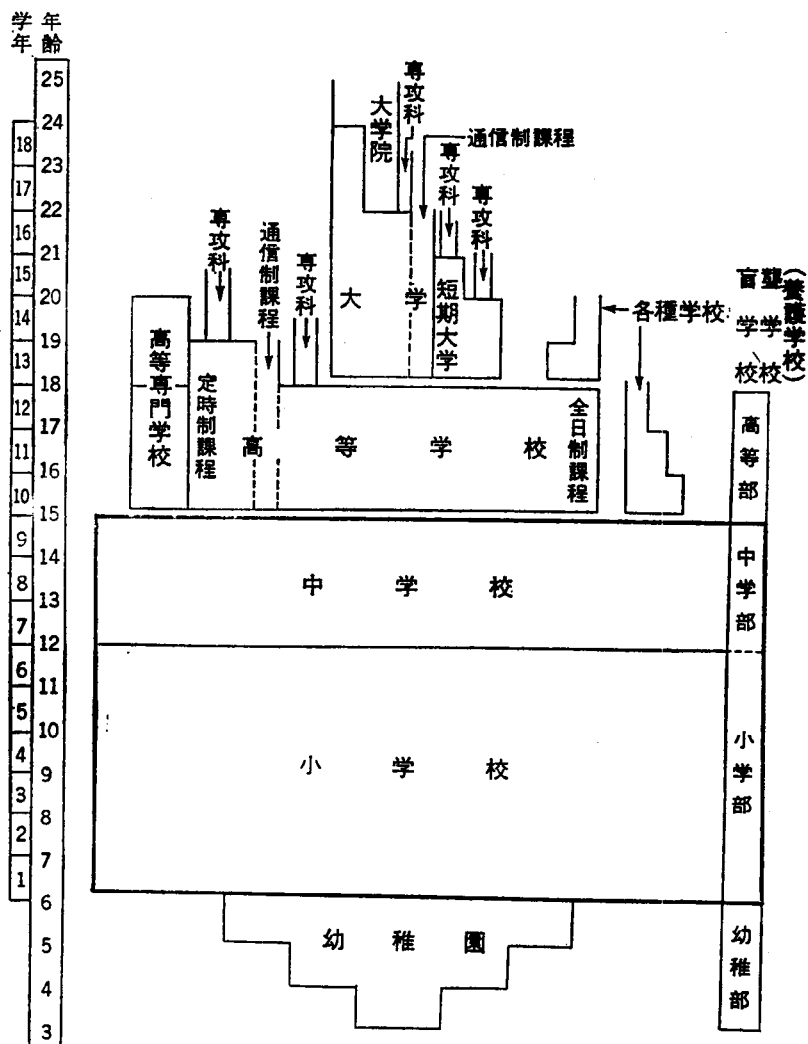
帰国後、女学校で英語を教えましたが、しとやかで従順なだけの女性をもとめている日本の社会に満足できませんでした。そこで、明治二十二年に、ふたたびアメリカに留学して、大学で生物学を学んで帰国したのち、明治三十三年に、私立の津田女子英学塾をつくりました。 10

福沢や梅子のほかに、新島襄の同志社、大隈重信の東京専門学校（のちの早稲田大学）などがつぎつぎとたてられ、外人宣教師によって、ミッションスクールもたくさんつくられました。こうして、公立・私立ともに、学校教育はさかんになっていきました。 15

「日本の歴史9」（ポプラ社）

父、農学者、持ち主、文明女性
送る
手放す、決心
家庭
風俗、習慣、見方、身
十一年後
女学校、英語、従順
社会、満足
生物学
英学塾
専門
宣教師
公立
歴史

現在の学校制度



1

現在

明治維新

一八六七年から六八年にかけておこった政治改革と、それにもなう社会の変化をいう。この時、江戸幕府が廃止されて政権が將軍から天皇に移り、天皇の下で、明治の新政府が成立した。それ以後、日本は、近代的統一国家の形成へ向かった。

四民平等

明治政府は、江戸時代に存在した士農工商（武士・農民・職人・町人）の身分上の差別を廃止した。これによって、人々は、制度の上では平等になった。

幕府

武士が政治の実権をにぎっていた時代（鎌倉時代―江戸時代）の政府。

岩倉具視

（一八二五―一八八三）明治のはじめのころの政治家。

新島襄

（一八四三―一八九〇）明治時代の教育者。キリスト教にもとづく教育を行なった。

大隈重信

（一八三八―一九二二）明治・大正時代の政治家。

30	29	28	27	26	25	24
制	省	育	民	府	政	治
制度 セイド	省く はく 省みる かえりみる	文部省 モンブショ 反省 ヘンセイ 育てる イク	国民 コクミン 国民 コクミン	政府 セイフ 政府 セイフ	政府 セイフ 政府 セイフ	治る ハス 治める ハス 自治 ジ 明治 メイ

38	37	36	35	34	33	32	31
反	的	理	対	最	寺	画	計
反らす サ 一反 イ 反对 タイ する スル	的 テキ 合理的 ゴウリ 的 テキ	合理 ゴウリ 合理 ゴウリ	一对 イ 対する タイ する スル	最も モト 最高 サイコウ	寺子屋 テウコヤ 寺院 ジイン	画家 ガ 計画 ケイ 画 カ	計る ケイ 計画 ケイ 画 カ

45	44	43	42	41	40	39
身	決	性	留	有	実	由
身につける ミ 身長 シンチヤウ	決める キ 決心 ケツシン (決) ケツ	女性 ジョウセイ	留める リウ 留学 リウガク	有る アル 有無 ウム 有名 メイメイ な	実る ミ 木の キノ 実 ミ 実業家 ジツギヤカ	自由 リユウ

48	47	46
在	現	公
在る アル 現在 ゲンザイ	現れる ハス 現在 ゲンザイ	公 コ 公立 コリツ

自然の中にはさまざまな物質が存在しています。人間はこの物質を生活に役立てています。たとえば、南アメリカのチリには硝石という物質がありますが、この硝石は肥料に使われます。モンゴルには岩塩（塩化ナトリウム、NaCl）がうずもれています。モンゴル人はこれを掘りおこして食塩に使っています。石炭は地球上いたる所に存在していて、燃料に使われます。

このように人間は自然の中の物質をそのままのかたちで利用しますが、そればかりではありません。自然に存在する物質を集めて、それに一度手を加えて利用する場合がたくさんあります。つまり、人間はいくつかの物質を一つに結びつけて、新しい物質につくりかえることをするのです。たとえば、硫黄（S）は空気中で燃やすと、酸素（O）と結びついて、二酸化硫黄（SO₂）という新しい物質に生まれかわります。この二酸化硫黄をもろ一度酸素と結びつけると、三酸化硫黄（SO₃）という新しい物質になります。この三酸化硫黄を水（H₂O）と結びつけると硫酸（H₂SO₄）という新

化学

自然、物質、存在、人間
生活、役立てる、南アメリカ
硝石、肥料、使う、岩塩
塩化、掘る、食塩
石炭、地球上、所、燃料

利用

集める、一度
加える、場合
結ぶ、新しい
硫黄、空気中、燃やす、酸素
二酸化、生まれる

硫酸

しい物質ができます。硫黄はそのままでは使い道が少ないのですが、この 1
 硫黄からつくられる硫酸は現代の工業にとってではなくてはならない物質で
 す。このように、自然の中にある物質を組み合わせることによって、新し
 い物質をつぎつぎにつくり出すことができます。すると、物質は種類がふ
 えて、使い道がどんどん広がっていきます。

5

反対に、自然の中にある物質をいくつかの物質に「分解する」ことによ
 って、新しい物質を手に入れることができます。たとえば、自然の中には
 酸化鉄 (Fe_2O_3) という物質があります。この酸化鉄を溶鉱炉に入れて、コ
 ークスといっしょに燃やすと、酸化鉄から酸素 (O) がのぞかれて鉄 (Fe) 10
 を取り出すことができます。銅 (Cu) や鉄のような物質はそのままの姿で
 自然の中に存在することがありませんので、このようにして手に入れるわ
 けです。

水素 (H) とか酸素 (O) とかも、工業にとっては非常に大切な物質なの
 ですが、これらの物質は水 (H_2O) を分解して手に入れます。つまり、水 15
 は酸素と水素からなりたっている物質なので、これを酸素と水素とに引き
 はなしてしまうことができるわけです。

使い道

現代、工業

組み合わせる

種類

広がる

反対、分解する

酸化鉄、溶鉱炉

鉄

取り出す、銅、姿

水素、非帯、大切

引きはなす

いくつかの物質から一つの物質をつくったり、反対に、一つの物質から
 いくつかの物質を取り出したりすることが出来るわけですが、このよう
 なことをくりかえしているうちに、人間は物質の仕組みについての知識をた
 くさんたぐわえてきました。この知識のことを化学といいます。化学は自
 然科学の一つの分野であって、物質の仕組み、ある物質からはかの物質へ
 のうつりかわりを明らかにします。

わたしたちは化学を勉強することによって、物質についての知識をふや
 すごすことができます。そして、この知識にもとづいて、すでに存在している
 物質を結びつけたり、分解したりしながら、新しい物質をつくり出すこと
 ができます。つまりわたしたちは自然の中に存在するいろんな物質を、人
 間の生活に最もふさわしいかたちにつくりかえながら、利用しているの
 です。

「自然科学2—化学のはじまり」(麦書房)

仕組み、知識

科学、分野

明らか

勉強

最も